

抜歯にさいして注意して頂くと

残念ながら抜歯をする事になりました。抜歯は前後の注意が大切です。

前日までに

- ・ アルコールは前々日までに。以降は控えましょう。
- ・ 過激な運動をさけ、よく睡眠をとって体調を整えて下さい。

歯を抜く日

麻酔の使用時や抜歯の時に異常があった方、特異体質やアレルギーのある方は、必ず事前に先生にお申し出下さい。

また、当日に体調が悪くなってしまった場合には、お電話等でご相談ください。

抜いた後

歯を抜いた後、30分ほど綿やガーゼを噛んでいただきますと、だいたい出血は止まります。半日ぐらいは唾に血が混ざることありますが、気にするあまり唾を吐き続けたり、何度も口をゆすいだりすると、かえって血が止まりにくくなります。

強くゆすいではいけません。傷口が開いてしまいます。

再び出血があるようならば、清潔な脱脂綿などを患部に当て、しばらく噛んで様子を見てください、だいたい止血いたします。ドクドクと脈を打つよう出血する場合は注意が必要です。

人によっては抜歯後3～6時間して寒気を感じるがありますが、抜歯の反応によるものですから安静にしてください。心配はありません。

また、頬が腫れてくることもありますが、心配する必要はありません。外科手術後には一時的にあることで、反応性の腫れはつきものです。冷たいタオル等で少々冷やすと良いでしょう。尚、冷やしすぎには注意をして下さい。

抜いた当日は出来るだけ安静にして、血めぐりが良くなりすぎるような入浴・運動・飲酒は避けて下さい。

抜歯後は、精神的負担などにより、普段よりも反応が低下しますので、自動車の運転など重要な判断を必要とする事は避けて下さい。とくに鎮痛剤を飲んだ場合は絶対にやめて下さい。

喫煙は、傷口の治りを遅くしますのでお止め下さい。

食事

麻酔が効いてシビレている間の飲食はひかえて下さい。シビレは2～3時間(強い麻酔の場合は半日ほど効いている事もあります)で自然にとれますので、その後は出来るだけ傷口の反対側の歯で食事をとって下さい。

傷口を治すためには栄養が必要です。大きな傷の場合、はじめは半熟卵スープ、ミルク

やエネルギードリンクなど、柔らかく栄養価の高いものがよいでしょう。

口腔衛生

抜歯した日より、2日ぐらいは必要以上に口をゆすがないで下さい。

翌日には、軽くゆすぐようにし、傷を感染から守るため、食後には注意深く歯を磨いて下さい。(イソジン等は人によって使用可)歯磨剤や洗口剤は使わないで下さい。その際、傷口には触れないよう気を付けましょう。

抜歯後、2～3日のうちに、あなたの体調や傷口の様子を診て、消毒をしますので、必ず受診してください。通常は3～4日後には磨けるようになります。

= 子供の場合 =

お子さんに嘔吐について連れて来たり、嫌がるのを押さえ付けて抜くようなことはせずに、良く話し合って理解させてから抜くことをお勧め致します。どうしても嫌がって抜くことができなかった場合は、次回に抜くことを約束し、家でもう一度話し合って、理解させてから抜くことが大切です。今後の治療を進める上でも障害になる事もありますので宜しく願いいたします。

子供さんが診療室に入りましたら「我慢なさい」とか「痛くありませんよ」などと声をかけるのはお止め下さい。スタッフと子供さんとのコミュニケーションがとれなくなってしまうと。

歯を抜いた後、お子さんは麻酔でシビレているのを気にします。そのため、その部分を噛んだりつねったりして、傷をつけてしまうことがありますから、まわりの人たちも十分気を付けて見守ってあげて下さい。

その他に注意することは大人の場合と同じです。



グリーンプラザ歯科医院

東京都小平市美園町 1-6-1 グリーンプラザ 2F

TEL&FAX 042-341-8148

ホームページ <http://www.gp-dent.com>

(グリーンプラザ 歯科.com)